



ABUKUMA ROMANTIC ROAD

Vol.9
2015 年 3 月発行



あぶロマは、国道399号線でつながる5市町村、飯館村、浪江町津島、葛尾村、田村市都路、川内村の元気を発信する協議会です。震災によって失われつつあるふるさとの味を残す活動を続けています。飯館村は、あぶロマ仲間でもっとも北の村になります。

あぶロマ5市町村の中でももっとも北に位置する飯館村。飯館村はまた、あぶロマ市町村の中では唯一の相馬郡に属する村でもあります。500メートル内外の標高もあって、夏の涼しさも冬の寒さも際立っているこの村のこと、高原野菜は濃厚な味をつくり、凍み大根、凍み豆腐、凍み餅などの凍み文化もまた、冬の寒さが厳しい村の大事な食文化です。

ここまで数々のチャレンジを続けてきた飯館村。今回の災害は飯館村にとっても最大のチャレンジを強いられるものとなりました。いつ来たって「いいいたて」、どこにいても「いいいたて」。いいいたてのチャレンジは、まだまだ続きます。

あぶロマ街道風物史

までいいいたて



事務局：〒979-1201 福島県双葉郡川内村大字上川内字八窪五〇八の2
E-Mail: info@abukuma-r.jp URL: http://abukuma-r.jp/

あぶくまロマンチック街道構想推進協議会



農と食と人の 確かなつながり

活力のある村
ていねいでしっかりとした暮らし
これまでも、そしてこれからも

あぶくま ABUKUMA ROMANTIC ROAD

ロマンチック街道



いたては、美しい村です。

飯館村は日本で最も美しい村連合に加盟している自治体でもあります。が、いたての美しさを知っているのは、いたてに生まれた人たちであり、いたてに移り住んだ人たちであり、いたてを築いた人たちです。

美しい風景、おいしい作物、育ちの良い牛たち、そして気持ちのやさしい村の人々。すべてがあつて、美しい村いたてが完成します。

いたてのスローガンは、まていな暮らし。まていとは東北の方言でていねいという意味です。またゆつくりという意味もあります。農作業も、村づくりも、そして生き方そのものも、いたての人々の営みはすべてまていに進められていました。いたてでのまていな暮らし。そこには、いろいろな意味と、いろ

いろな思い出がつまっています。

昭和31年に、相馬郡大館村と飯館村が合併してできた飯館村は、その後、平成の大合併の際に合併協議会から離脱して、自立の道を切り開き始めました。

村の特産であるトルコギキョウをはじめとする花き栽、あぶくま地域に共通する特色である冷涼な高原の気候をいかした高原野菜の作づけ、豊かな自然環境で育てた飯館牛たちは、多くの食通たちに愛されてもぎました。未来を見据えた村づくりの成果でもありました。

どぶろく特区としてのどぶろくづくりも美しい村いたての大事な特産品でした。どぶろくづくりは震災後に中断を余儀なくされましたが、現在では避難先で製造認可を取得し、以前と変わらぬ味のどぶろくを作り続けています。